

資料 1 - 1 各校種の学習指導要領における「選挙」に関する学習

	小学校(第6学年)	中学校(公民的分野)	高等学校(政治・経済)
目 標	(2) 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。	(2) 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会のかかわりを中心に理解を深めるとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
内 容	(2)ア 我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて <u>政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること</u> 、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。 <u>国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。</u>	(3)イ 民主政治と政治参加 地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。また、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせるとともに、多数決の原理とその運用のあり方について理解を深める。さらに、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させるとともに、 <u>民主政治を推進するためには、公正な世論の形成と国民の政治参加が大切であることに気付かせる。その際、選挙の意義について考えさせる。</u>	(1)ア 民主政治の基本原則と日本国憲法 現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について探究させ、政治についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。 日本国憲法の基本的性格と国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観し、政治と法の機能、人権保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義について理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について探究させるとともに、 <u>政党政治や選挙などに着目して望ましい政治の在り方及び主権者としての参政の在り方について考察させる。</u>

※表中の各線種の下線部は、それぞれ校種間で関連している部分(系統性を持った部分)を示している。

学習内容等の目標に視点をあててみると、小学校段階では政治の働きと考え方を「自覚」させること、中学校段階では「態度を育てる」こと、高等学校段階では「能力と態度を育てる」ことが目標となっていることがわかる。また、内容に視点をあててみると、小中高ともに、政治参加の方法としての「選挙」について考えさせるといことがわかる。